



1 飯保第 1 1 6 0 号
令和元年 1 2 月 1 2 日

飯伊地域医療構想調整会議
議長 市瀬 武彦様

飯田市長 牧野 光 朗



休日夜間の救急医療に関する課題について

日頃から地域医療の発展に尽力されていることに敬意を表します。

さて、飯田下伊那医療圏における医師不足は非常に厳しい状況にあります。

従来、当医療圏における休日夜間の医療提供体制については、医療機関の役割分担と関係機関並びに地域住民の協力により確保してまいりました。しかし、現状の医師不足の状況が続けば、近い将来において休日夜間の医療提供体制の維持は困難になると考えられます。

例えば、当市が運営する飯田市休日夜間急患診療所では、執務いただいている開業医の人数が減少するとともに平均年齢も 6 1 歳と年々上昇しています。また、当市が医師会へ委託している在宅当番医についても、内科が 6 1 歳、小児科が 6 5 歳、外科が 7 2 歳と平均年齢が年々上昇し、高齢の医師によって支えられているのが現状です。へき地医療についても同様であり、医師が退職されても新たな医師の招聘は非常に難しい状況です。

一方、二次医療を担う輪番病院においても、医師不足に加え「働き方改革」に対応するため勤務医の時間外労働規制が想定され、休日夜間における医療提供体制の拡大には慎重な判断と合意形成が必要と考えられます。

このような状況から、当医療圏における休日夜間の医療提供を維持することは喫緊の課題でありながらも問題が多く、医療関係機関、地域住民、行政が一体となって課題解決に向けて協議する必要があるものと考えています。

つきましては、貴会議では当医療圏における医師の確保をはじめ医療全体の調整を図るために設置されており、特に医師確保の状況は今後の医療政策に大きな影響を与えることから、喫緊の課題である下記についても協議されることを要望します。

記

1 協議願いたい課題

当医療圏の休日夜間における医療の提供を確保するための対策